



スイートコーンの栽培方法についてご紹介します。

スイートコーンとは、トウモロコシの中の甘みが強いものの総称です。

スイートコーンの中にも一般的な黄色や白色、赤色、バイカラー(2色)など様々な種類があります。それぞれ味や食感が違うので、自分が興味のある品種を作ってみましょう。

近くに色の異なる品種のトウモロコシを混植すると、花粉が風で飛んで本来の品種の色や味とは異なってしまうので注意しましょう。

スイートコーンの栽培方法には露地栽培とマルチ栽培があります。露地栽培は生育に適した条件で栽培できるため、栽培が比較的簡単です。マルチ栽培は地温の上昇と水分、肥料の保持によつて発芽と生育が促進され、露地栽培よりも早く収穫ができます。

スイートコーンは他の作物と関連する病害がなく、どの野菜との輪作体系にも組み込めます。

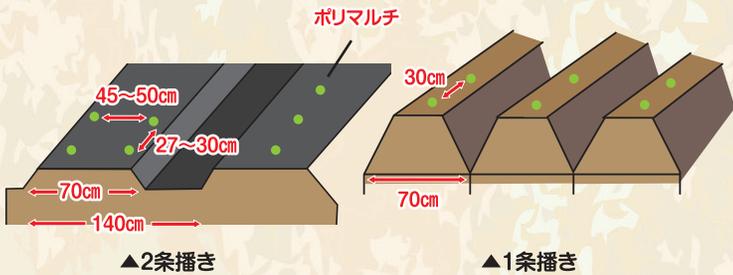
ほ場の選定

スイートコーンは光を多く必要とする作物なので、日当たりのよい場所を選びましょう。また、水はけがよく、乾燥しすぎない場所が好ましくです。

播種

畝立ては2条播きの場合、畝幅を140cm、そこへ70cm幅の床をつくり、条間45cm、株間30cmで2条播きします。1条播きの場合、畝幅70cm、株間を30cmにします。

表面から2〜3cmの深さに種子を2粒播いて覆土します。マルチ栽培の場合は播種から1週間ほど前にマルチを張っておくことで地温が上がり、寒害の防止や初期生育の促進になります。



施肥

スイートコーンは肥料を多く施用することで生育促進や増収が期待できます。施肥量が少ないと先端不稔が発生する可能性があります。しかし、施肥量が多すぎると生育初期に障害が出やすい作物なので、注意が必要です。

追肥は背丈が40〜50cmのとき、雄穂が出始めたときの2回施用することが好ましくです。降雨や灌水のあとに行うと効率よくできます。

間引き

葉の枚数が2〜3枚のころに2本出てきているものを1本に間引きします。間引きの際に抜こうとすると根が絡まっていたり2本とも抜けたり、根を痛めつけたりしてしまうので

ハサミで切るのが良いでしょう。

灌水

雄穂が出始めると葉の面積や根量が増加し、水分の吸収量が多くなるので、土が乾いたら灌水します。

お詫びと訂正

2月号P11「玉ねぎのべと病について」の内容に一部誤りがありました。深くお詫びを申し上げますとともに、下記のとおり訂正します。

- 【予防農薬】・ダコニール1000(予防効果)・ピシロックフロアブル(予防効果)
- 【予防・治療薬】・アミスター20フロアブル(予防・治療効果)・シグナムWDG(予防・治療効果)

農薬紹介の中で予防農薬・治療農薬を4品目ご案内しましたが、べと病は発生してからの完治は困難ですので、感染前の予防的防除を心がけてください。